

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年2月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要

【前月からの動き】

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は0から6に増加。「減少した」業種は11から4に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は6から11に増加。「減少した」業種は18から13に減少
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は1から4に増加。「悪化した」業種は19から16に減少。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は2から5に増加。「減少した」業種は8から6に減少。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は7から10に減少。「減少した」業種は16から12に減少。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は2のまま変化なし。「悪化した」業種は23から21に減少。

製造業

しょうゆ製造

【県内全域】

例年通り、2月も低調であった。

漬物製造

【県内全域】

相変わらず原料野菜の高騰が続き収益を圧迫している。

豆腐製造

【県内全域】

放射能問題により、北関東から東北産大豆の汚染が懸念され、北海道及び西日本方面の大豆に要望が集まり、北関東から東北産大豆が入札にほとんど出なかった。

牛乳小売

【県内全域】

乳酸菌類の商品は好調。

製材

【県内全域】

住宅エコポイント制度の復活等により、徐々にではあるが改善が見られる。

製材

【木更津】

2月隻はロシア材、米材、南洋材の入港なし。3月隻はロシア船、南洋船入港予定あり。

印刷

【県内全域】

県内印刷企業2月の受注件数は若干の増加。売上高は受注競争の激化による単価下落や予算縮減の影響が大きくは伸びないものの、年度末に向けての発注が動き出した官公需・季節需要による商業印刷物の増加などの結果、受注件数

の増加となった。

電気鍍金

【千葉】

2月に入って幾分景気の上昇が見られたが、月半ばになって下落に転じた。

鉄工

【千葉】

各社の動向は若干バラツキが見られるものの、これまで同様特段の需要落ち込みもなく推移。その一方で、先行き動向については、景気全般に対する懸念材料などを睨みつつ、設備投資・人材採用等には慎重姿勢が見受けられる。

機械部品製造

【野田】

全体的に動きが良くなってきている状況。エコ等節電対策後、電力料アップの動向は、製造業は苦しくなる状況にある。

機械部品製造

【流山】

原油価格の値上り、燃料（ガソリン、軽油）の値上げがありコストが増える傾向にある。このまま原油価格が値上りすると、原料、原材料の価格に影響が出る。

機械部品製造

【柏】

先行き不透明感が支配的だが、自動車の3月をピークとする受注により引っ張られ、1月〜3月は前年比プラスとなる見通し。得意先の動きは円高対応として、海外

生産（LCC）と内製化により、中小企業の国内生産分は減少していく。但し、軽量化、環境、医療等については増えている。エンドユーザーの多様化、グローバル化に伴い、短納期、多種少量、低価格の要請はますます増えるので、どの様に対応するかによってはチャンス。課題は設備投資、人材。

【土砂採取】 **【県内全域】**
一部には前月同様災害復旧の關係で骨材需要増加の方向のところがある。

非製造業

【総合卸売】 **【千葉県・東京都】**
【海苔卸】 震災影響により東北地方の原料入荷激減。地元船橋産原料も不足。原価上昇傾向。

【産業用ゴム】 原油価格上昇基調にあり、仕入価格が上昇しているが、価格への転嫁に難航している。

【食肉卸売】 **【千葉市他】**
厳しい状況にある。依然として牛肉価格が低迷している。

【建築材料卸売】 **【県内全域】**
数量的には、2月は前年比20%増加。暦年・会計年度とも前年より10%増加見込。来年度当初から始まる新規物件が目ぼしいものがなく、不安要因だが、長期的には

復興需要が徐々に出るであろうし、年間では今年度を上回るものと推定される。世界的に低迷が予想され、福島や東北に経済牽引期待する向きもある。

【自動車解体】 **【県内全域】**
前月までの超円高が一段落したため少しホッとした雰囲気。

【乾物卸売】 **【県内全域】**
消費低迷状況は変わらない。本年度の海苔生産量は、昨年比大幅に減少見通し。需要の多い低価格帯の相場が高い。

【電気機器小売】 **【県内全域】**
販売の低迷が止まらない。期待される太陽光発電も未だ伸びず、先が読めない。

【青果小売】 **【千葉市】**
気温低下が続き、品物の入荷が大きく落ち込み、相場は実によく上昇してしまった。資金繰りの悪化は深刻な状況となっている。収益も今期最低クラスではないか。

【中古車仕入・販売】 **【県内全域】**
商繁期への動き本格化。成約率高基調の展開だが、一方で集荷が頭打ち。成約単価の低下など、経済の足腰の弱さがあるため、商繁期後の動きに要注意の状況。

【小売】 **【東金】**

新入学関連商品は、例年より遅めの動きであった。食品関係は健闘している。ファッション関連品は、寒さが続き重衣料の動きはあるが依然厳しい状況。

【小売】 **【野田】**
冬物衣料の最終処分セールは低調。春物は暖かい日に若干動いたが一時的なものだった。

【印鑑小売】 **【県内全域】**
店舗売上は横ばい状況か回復基調にあるが、営業売上はまだまだ厳しく、少量の発注でも見積り合わせ等で取引条件・収益状況共に悪化している。業界動向は、財団法人の公益又は一般法人への移行をビジネス機会と捉え、営業回りやDM等で受注できるようにする。

【建設揚重】 **【県内全域】**
県外の震災復興関係と君津地区での大工事の影響で不足の状態が続いている。一方、料金の上昇困難、材料費の高騰で経営面では苦戦している。

【害虫防除】 **【県内全域】**
景気回復はますます悪化状態。季節の変化で受注が心配され、震災の影響がまだ響いている。

【遊覧船】 **【鴨川】**
本来この季節は寒いところの

方々が暖かい房総を目指して来るのだが、この寒さに加え、依然として収まらない原発の影響により、前年比は70%位であった。木更津金田の三井アウトレットの開設により、南房総へのルートがどう変わるのか注目している。

【一般廃棄物処理】 **【千葉市】**
前月比は好転となったが、前年同月比は悪化の結果となった。繁忙期の来月に期待したい。

【学習塾】 **【県内全域】**
2月は塾生の入れ替わり時期。受験生は合格すると2月いっぱい退塾する者も多い。

【ソフトウエア】 **【県内全域】**
年度末を控え収益状況では多少明るい状況が見られる。

【建設】 **【県内全域】**
当連合会加入組合員の受注額は5,408百万であった。(前月比で1,168百万の増加、前年同月比では1,355百万の増加)但し、地域別で見ると増加地域は、千葉、安房、長生、市原、京葉であり、減少地域は北総、海匝、香取、君津、山武、夷隅となった。

【輸出入】 **【県内全域】**
回復しつつありますが、前月比・前年同月比を超えない。

復興需要が徐々に出るであろうし、年間では今年度を上回るものと推定される。世界的に低迷が予想され、福島や東北に経済牽引期待する向きもある。

冬物衣料の最終処分セールは低調。春物は暖かい日に若干動いたが一時的なものだった。

2月は塾生の入れ替わり時期。受験生は合格すると2月いっぱい退塾する者も多い。